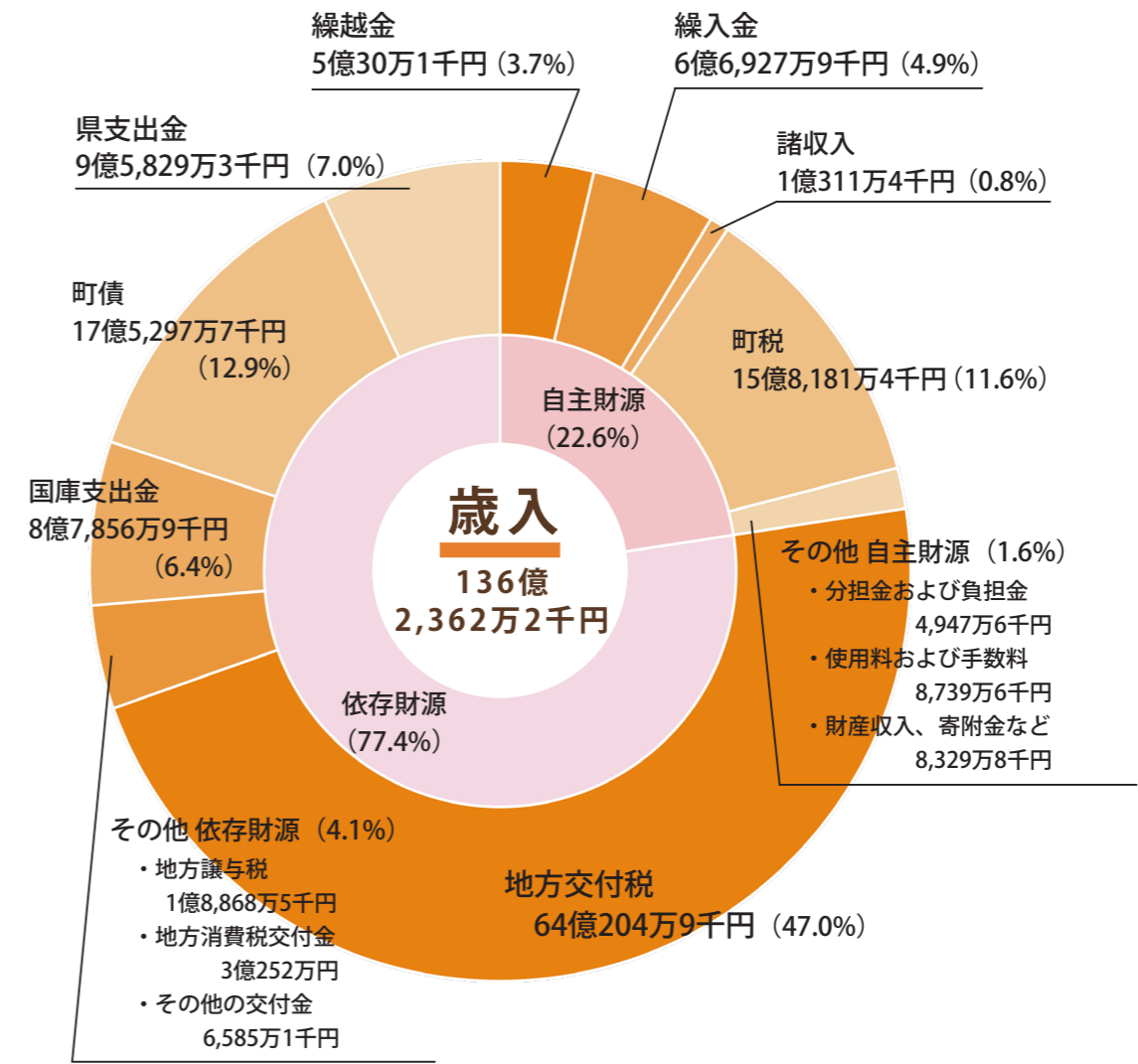


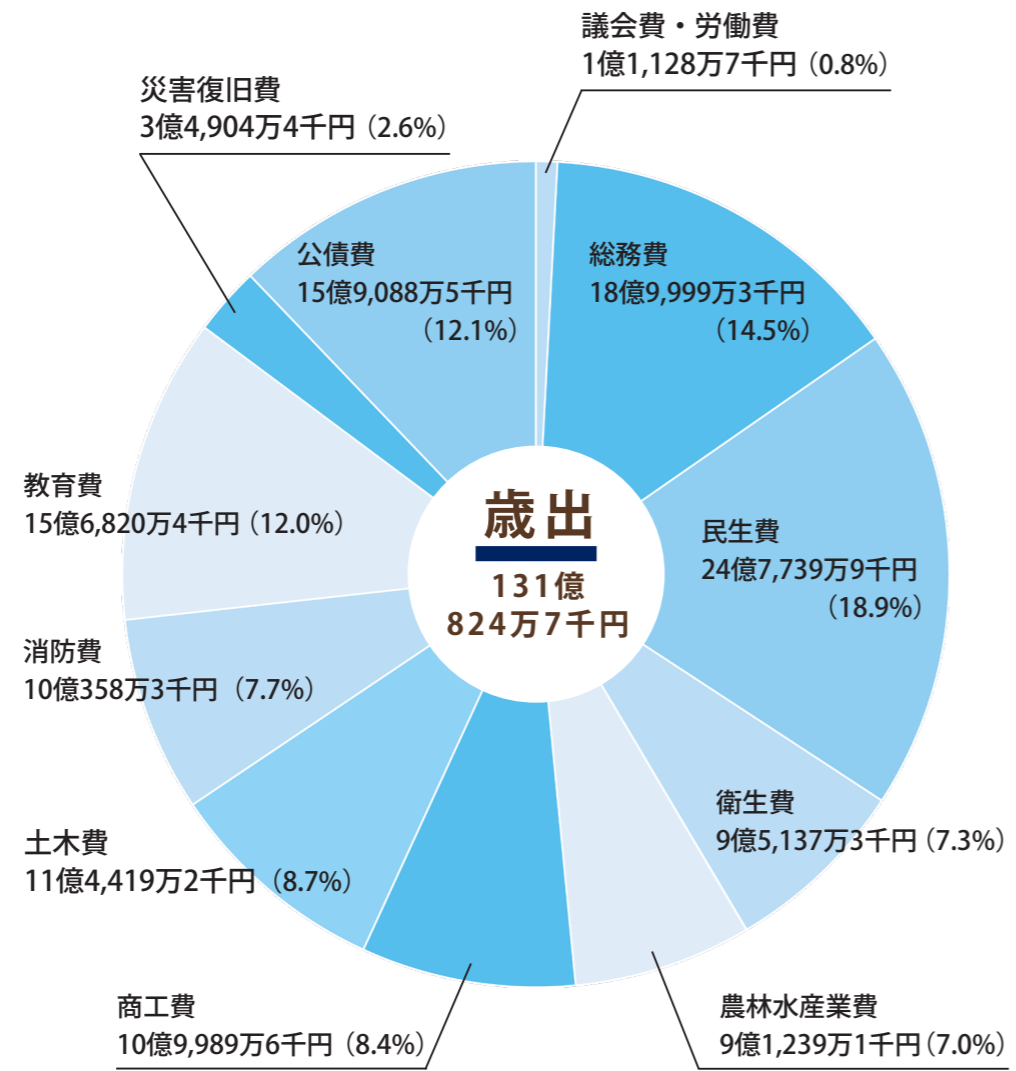
令和元年度町の決算をお知らせします



一般会計決算額

歳入総額	136億2,362万2千円
歳出総額	131億824万7千円
形式収支額	5億1,537万5千円
実質収支額	4億689万2千円

※実質収支額は、形式収支額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いたものです。



臨時的財政需要の高まりにどう対応するか

台風や豪雨をはじめとする自然災害の多発、異常少雪による観光産業への打撃、新型コロナウイルス感染症への対応など、臨時的財政需要が日を追うごとに高まりを見せています。財政の弾力性がより一層求められることから、安定した経常一般財源の確保が必要とされています。

町では、直面する諸課題に迅速かつ柔軟に対応できる財源を確保するため、「選択と集中」の観点から、事務事業の見直しや公共施設の適切な管理・運営など、行政コストの削減に継続して取り組みながら、効率的かつ計画的な財政運営に努めるとともに、健全な財政構造を確立していきます。

令和元年度決算状況は「おおむね良好」
円グラフなどでお示ししたとおり、令和元年度一般会計決算

では、歳入から歳出を差し引いた形式収支額、形式収支額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支額ともに黒字となりました。

ね良好」といえますが、依然として地方交付税をはじめとする依存財源が約8割を占める状況にあります。

特別会計決算額

- 特別会計とは、一般会計に含まず、独立して経理すべき事業を管理するための会計です。
- 水道事業会計の不足額が発生していますが、内部留保資金などを活用し、補っています。

会計名	歳入	歳出	実質収支	
国民健康保険	18億3,323万7千円	17億4,572万4千円	8,751万3千円	
後期高齢者医療	2億1,651万8千円	2億1,421万7千円	230万1千円	
介護保険	23億2,312万8千円	23億496万1千円	1,816万7千円	
農林業集落排水事業	1億4,764万4千円	1億4,089万8千円	674万6千円	
公共下水道事業	3億9,243万9千円	3億3,366万円	5,877万9千円	
企業会計				
収入		支出		
水道事業	収益的収支	5億9,151万6千円	5億5,346万円	3,805万6千円
	資本的収支	3億398万円	4億9,941万9千円	-1億9,543万9千円

健全化判断比率

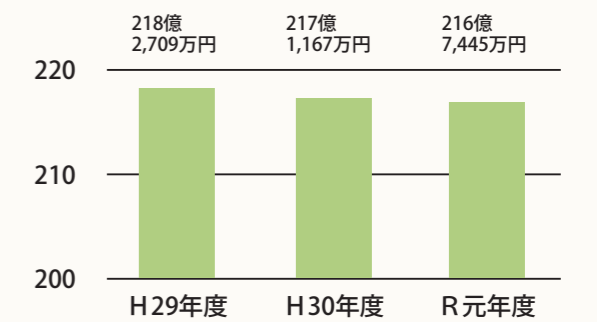
町財政の健全性を判断するための財政健全化法に基づく指標は、昨年に引き続き早期健全化基準値を大きく下回りました。

項目	比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	13.71%
連結実質赤字比率	—	18.71%
実質公債費比率	5.3%	25.0%
将来負担比率	33.1%	350.0%
資金不足比率	—	20.0%

※該当がなく算定されない項目は「—」で表示しています。

地方債残高

事業実施の財源として、国や銀行から借り入れるお金を「地方債」といいます。令和元年度末の残高は、前年度から3,722万円減少しました。



※一般会計と特別会計を合計した金額です。